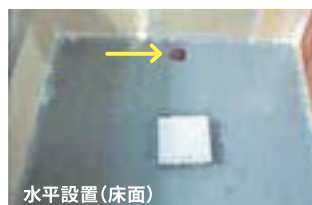


マックスフォース マグナムの設置方法別 (水平・垂直) 効力比較について

試験協力：大日本除虫菊株式会社

1 目的

マックスフォース マグナムは床面だけでなく、壁面にも設置することができる設計である。そこで、床に設置した場合（水平設置）と壁面に設置した場合（垂直設置）で効力差がみられるかを検証した。



水平設置(床面)



垂直設置(壁面)

※写真は強制摂食法での試験風景。試験区中央にはシェルターを設置した

2 試験方法

① 試験区：1m²

② 供試昆虫：チャバネゴキブリ雌雄 各20頭 計40頭

マックスフォース マグナムのみを試験区に設置した強制摂食法と、試験検体のほかに水、餌（実験動物用固形飼料）を設置した任意摂食法で試験を行った。

3 結果

試験方法	設置条件	LT ₅₀ * (日) (n=2)	平均薬剤摂食量 (n=2) (薬剤摂食率)
①強制摂食法	水平設置(床面)	<0.5	0.42g (99.9%)
	垂直設置(壁面)	<0.5	0.40g (99.6%)
②任意摂食法	水平設置(床面)	<0.5	0.39g (99.9%)
	垂直設置(壁面)	<0.5	0.36g (85.1%)

※ LT₅₀: Median Lethal Time (半数致死時間)

4 考察

強制摂食法では薬剤をほぼ完食し、LT₅₀値は0.5日未満であった。

任意摂食法では壁面に設置した場合に薬剤摂食量の減少がみられたが、LT₅₀値は0.5日未満であった。



他の餌が近傍に存在する任意摂食法では、平均薬剤摂食量に差がみられたものの、いずれの設置条件でもLT₅₀値は0.5日未満であった。本試験により、壁面に設置した場合（垂直設置）と床面に設置した場合（水平設置）で、同等の効果が確認できた。